

福祉避難所における要援護者の受入体制

宇都宮市地域防災計画等に基づく地震被害想定

災害発生

- ※「宇都宮市直下型地震」の想定
- ・発生時期: 冬季
 - ・発生時刻: 平日の夕方
 - ・震源: 市内中心部
 - ・震源の深さ: 20km以内
 - ・地震の規模: M=7.2(阪神淡路大震災級)

避難所生活を余儀なくされる市民
(健常者)

災害時要援護者

高齢者や障がい者など

避難者(健常者)

災害時要援護者

避難所【市施設】

避難所運営委員会

- ・避難者の代表者
- ・ボランティアの代表者
- ・市職員, 施設管理者

地域住民による避難支援

地区福祉避難所(148施設)

小中学校, 地区市民センター, 地域コミュニティセンター など

移送

拠点福祉避難所(25施設)

全中学校

重度の介護・介助が必要な者

移送

移送

移送

・避難所生活が困難な者
・より重度の介護・介助が必要な者 など

民間福祉避難所【民間施設】

特別養護老人ホーム
(20施設)



<予備のベッド等>

<地域交流スペース>

★特別養護老人ホームのメリット★

- ・入所施設の介護のノウハウを活かし, 緊急時の迅速な対応が可能
- ・予備のベッドや車椅子等を借用し, 迅速な福祉避難所の開設が可能
- ・地域交流スペース等の活用で, 要援護者の多数受入が可能 など

物資

要援護者のニーズに応じた物資
・ベッド, 紙おむつ, 車椅子 等

食糧・飲料水・生活必需品 等

介護支援者

他都市の応援職員
・保健師, 看護師等

福祉介護専門職
・保健師, 看護師, 介護福祉士, ホームヘルパー 等

ボランティア
・移送, 物資分配 等

宇都宮市

災害対策本部

災害時要援護者支援班
(保健福祉部)



災害活動拠点
(体育館, 公園 等)

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携

連携